

その他（４）

平成29年度新潟県立近代美術館協議会評価報告書について

このことについて、別紙のとおり報告する。

平成30年11月27日  
新潟県教育委員会教育長  
池田幸博

# 新潟県立近代美術館協議会評価報告書（概要）

## 1 趣 旨

平成 29 年度県立近代美術館（万代島美術館含む）の運営について美術館が自己評価を行い、その結果を美術館協議会に諮り、外部評価を実施した。なお、外部評価は平成 20 年度に始まり本年度で 10 回目となる。

2 対象期間 平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

## 3 県立近代美術館の自己評価に対する総括的所見

- ・分野別の取組とその成果について、美術館の自己評価はおおむね妥当と判断する。
- ・展覧会だけではなく、研究や教育普及活動等もさらに充実させ、アートの発信地となることを期待。

4 分野別に見た自己評価に対する委員評価 ◎評価すべき点 ▲今後の課題や改善等が必要な点

### (1) 展覧会に関する評価

- ◎県民の期待に沿った多様な展覧会が開催され、これまで美術館に足を運んでこなかった新しい観覧者層を呼び込むことができたことを評価。
- ◎イベントやワークショップが充実し、美術館を「体験する場」にできたことを評価。
- ▲観覧者数が伸び悩んだ展覧会については、いかに足を運んでもらうかが今後の課題である。

### (2) 教育普及等関連事業に関する評価

- ◎利用事後調査票を通して、学校側のニーズや教育普及事業の成果等が確認できたことを評価。
- ◎特別支援学校や福祉施設、病院の入院患者等を含む幅広い団体のニーズに応じ、参加型の鑑賞と支援が行われ、美術館の魅力を総合的に高められたことを評価。

### (3) 調査・研究、収集・保存、発信に関する評価

- ◎所蔵品や展覧会に向けた調査・研究に堅実に取り組んでいることを高く評価。
- ◎調査・研究の成果が展覧会や、図録、講座やギャラリートーク等に反映され、情報発信されていることを評価。

### (4) 環境・設備に関する評価

- ◎近代美術館の改修工事について、美術館の納得のいく基本設計となったことを評価。
- ◎万代島美術館では、家族連れが利用しやすい環境作りを心掛けていたことを評価。
- ▲近代美術館の改修期間中も、改修内容やそれによって改善される点などを情報発信して欲しい。

### (5) 協働組織に関する評価

- ◎友の会やボランティア、大学、自治体等との連携が着実に進み、安定した協働の形ができている。
- ◎アートリンクの活動として4館協働のイベントを開催したことを評価。
- ▲近代美術館の休館中に、新たな協働先の開拓を進めることを期待。



## 5 特に取り組むべき課題

- 観覧者数の増加と展覧会ニーズを反映した多様な展覧会の実施
- 展覧会等の内容に合わせた効果的な教育普及事業の展開
- 協働連携の効果を見据えた新たな協働先の開拓

## 6 平成30年度県立近代美術館運営への提言（要約）

### 【丹治嘉彦会長 新潟大学教育学部教授】

展覧会を「観る」だけではなく、「体験」するという新たな展覧会の形態を提示し、美術館のイメージを一新できたことは評価できるが、エンターテイメント的な企画だけでなく、研究的な要素を含んだ展覧会など、展覧会構成に偏りが生じないように実施して欲しい。

### 【松本健義副会長 上越教育大学大学院学校教育研究科教授（学校教育学系）】

観覧者が幼児から成人まで広がりを見せているが、中学校・高等学校の生徒は、芸術の直接的経験に乏しい状況にある。特に、中等教育に焦点を当てて教育普及を充実させることを期待する。また、多様な観覧者のニーズを把握し、展覧会と教育普及、調査・研究等をトータルに機能させる取り組みを期待している。

### 【岡塚章子委員 東京都江戸東京博物館都市歴史研究室長】

新しいジャンルやスタイルの展覧会に取り組んだことは評価できる。館の将来を見据え、特に作品収集を継続していくための収蔵スペースの確保等について検討してほしい。また近代美術館の休館中は、調査・研究や収集・保存活動を積極的に進めることを期待する。

### 【山田一郎委員 新潟県美術家連盟事務局長】

美術館の企画が県民の求めるニーズに合致しているのか、把握の仕方を工夫してほしい。また展覧会の開場式に県議会関係者を招待してほしい。31年度に新潟県で国民文化祭が開催されるのを機に、県の美術を全国に発信してほしい。

### 【西條和佳子委員 特定非営利活動法人ワーキングウイメンズアソシエーション常任理事】

若者へアプローチするために、ペアチケットの導入を提言する。また、他県からの観光客を誘致するため「美術館を核とした観光コースの策定」に取り組んでほしい。「万代島ビルの地下駐車場から車椅子が利用できるようにすること」について、美術館だけでなく、ビル全体として検討してほしい。

### 【竹内伊澄委員 元新潟県社会教育委員/元上越市社会教育委員/歯科衛生士/上越市民芸能祭協議会副会長/いずみジャズダンススクール主宰】

県立の文化・教育施設は厳しい財政状況にあり、そうした現状をメディアに取り上げてもらい、広く知ってもらうことは重要である。集客も大事だが、地元作家の作品収集や研究は、美術館の大きな役割であり、将来へつながるものであることを忘れないでほしい。また、今後もメディアを通して情報発信をして欲しい。

### 【古田修委員 新潟市こども創造センター センター長】

近代美術館の改修をアピールし、美術館の新たな集客につなげてほしい。2020年の東京オリンピックに関連して、亀倉雄策のコレクションを活用してほしい。また、所蔵品についてもっと広く知ってもらう工夫が必要ではないか。教育普及については、長岡市以外の学校との関わりを強化してほしい。

### 【佐藤直人委員 新潟県立長岡商業高等学校教諭/新潟県高等学校文化連盟美術・工芸専門部門委員長】

29年度の企画展は、幼児から高齢者層までの要望に応える内容が盛り込まれていた。今後は企画展だけでなく、常設展にも関心を持ってもらうことが課題である。近代美術館の休館中は、万代島美術館での教育普及活動に期待したい。県内高校生の観覧料無料の実現について尽力を期待する。

### 【高石真理子委員 公募】

近代美術館の1年間の休館期間を有意義に使って欲しい。30年度は大地の芸術祭が開催され、県外からも観光客も訪れるので、県内の美術館が連携し、観光客を呼び込んで欲しい。近代美術館は入口の暗さが気になる。企画展示室前のアプローチについても利用法を工夫して欲しい。

### 【高橋健太郎委員 公募】

改修工事で新しく生まれ変わる近代美術館に期待している。美術の鑑賞だけではなく、新たな楽しみ方や体験を求める観覧者のニーズを踏まえた美術館であってほしい。改修について県民にも広く知ってもらうために、SNSやブログ、公式ホームページなどを活用し、情報発信を続けていくべきだ。

## 7 平成 29 年度県立近代美術館の事業概要

### 【平成 29 度の実績】

	近代美術館	万代島美術館	合計
展覧会事業観覧者数	65,555 人	134,290 人	199,845 人
教育普及事業等参加者数	14,214 人	1,284 人	15,498 人
合計（年間利用者数）	79,769 人	135,574 人	215,343 人

### 展覧会事業

#### 近代美術館

【企画展】		【常設展】 ※企画展開催時は企画展観覧者数に含む	
漢字三千年	19,761 人	全 5 期	3,081 人
加山又造展	14,211 人		
萬鐵五郎展	5,333 人	【共催展】 ※主なもの	
堀口大學展	1,922 人	第 19 回亀倉雄策賞展	1,134 人
ディズニー・アート展	21,247 人	第 72 回県展（長岡展）	2,892 人
計	62,474 人	ジュニア展（長岡展）	2,302 人

#### 万代島美術館

【企画展】		【所蔵品展】	
マリメッコ展	26,893 人	うつくしい暮らし	3,948 人
レオナルド・フジタとモデルたち	12,599 人		
チームラボ展	86,070 人		
古代アンデス文明展	4,780 人		
計	130,342 人		

### 教育普及事業 ※主なもの

#### 近代美術館

巡回ミュージアム（村上市）	444 人
美術講演会（4 回）	437 人
美術鑑賞講座（7 回）	232 人
出前講座（6 回）	179 人
ワークショップ（8 回）	66 人
作品解説会（57 回）	462 人
団体来館〈解説有〉（91 団体）	4,903 人
博物館実習	5 人

#### 万代島美術館

美術講演会（4 回）	474 人
美術鑑賞講座（4 回）	119 人
ワークショップ（5 回）	162 人
作品解説会（18 回）	404 人
団体来館〈解説有〉（37 団体）	907 人
博物館実習	7 人